

## 神崎市の特徴や誇れるもの

- ・市の東部には弥生時代の環濠集落跡国営吉野ヶ里公園があり、旧長崎街道が市内の東西を走っている。旧神埼宿や旧境原宿の古い町並みをはじめ、市内には遺跡や建造物、寺社など数多くの歴史的・文化的遺産が残されている。
- ・櫛田宮の「太神楽」、仁比山神社の「御田舞」、高志神社の「高志狂言」、小森田の「女浮立」などの郷土芸能や伝統行事が大切に継承されている。
- ・「下村湖人」「吉田絃二郎」「伊東玄朴」など、郷土が生んだ偉人の顕彰を行い、スケッチ会を開いたり、読書感想文や感想画の募集を行ったりして、表彰・展示等を行っている。

## 仁比山小学校の取組

- ・仁比山小校区には、国営吉野ヶ里歴史公園、天然痘予防に力を尽くした伊東玄朴の旧宅、国の名勝九年案や仁比山神社、百済から日本に漢字を伝えたと言われる王仁(わに)博士を祀った王仁神社など、名勝や史跡が数多く残されている。
- ・このような校区の特色を生かして、仁比山小学校では、ふるさとを愛する人を育てることを意図した、『にいやま学』を確立している。
- ・『にいやま学』の内容としては、「仁比山PRビデオ」「仁比山はかせ検定」「漢字はかせ検定」「仁比山いろはカルタ」、「伊東玄朴子ども学芸員」「仁比山神社・鰐神社清掃奉仕活動」「伊東玄朴物語の読み聞かせ」などがあり、学校行事や総合的な学習の時間、各教科等の学習活動の中で取り組んでいる。
- ・秋の「仁比山祭り」では、各学年の『にいやま学』の取り組みを発表し、高い評価を得ることができた。



教育委員会所在地: 神崎市千代田町直鳥166番地1

連絡先: (0952-44-2384)

学校数: 小学校 7校、中学校 3校

## 神崎市教育委員会の取組

- ・歌人で詩人の「服巻紫浪」、九年庵を造営した実業家「伊丹弥太郎」、次郎物語の作者「下村湖人」など、神崎市が誇る35名の偉人を紹介した『神崎の偉人35』を各学校に配布し、郷土の偉人のことを知り、郷土を愛する心を育てるとともに、子ども自身の生き方学習に活用していくことをねらいとしている。
- ・下村湖人作の『次郎物語第1部』と吉田絃二郎の童話集『天までとどけ』を、小学校入学時に全児童に配布し、学校や家庭で読み合う中で、ふるさとを愛する心、豊かな心を醸成するように努めている。

### －神崎・ふるさと学習－

- ・神崎市の児童・生徒が、郷土への関心を深め、郷土を愛し、郷土を誇りに思う心情を育むことを目的に、今年度から、市内全小中学校で『神崎・ふるさと学習』に取り組んでいる。
- ・児童・生徒一人一人が研究課題を設定し、調査活動を行い、研究した内容を論文にまとめる活動に取り組んでいる。
- ・子どもマイスター選考委員会により、優秀な研究に対し、「子どもマイスター」と「優秀子ども学芸員」を選出し、認定証を贈っている。



## 神崎市の特徴や誇れるもの

- ・市の東部には弥生時代の環濠集落跡国営吉野ヶ里公園があり、旧長崎街道が市内の東西を走っている。旧神埼宿や旧境原宿の古い町並みをはじめ、市内には遺跡や建造物、寺社など数多くの歴史的・文化的遺産が残されている。
- ・櫛田神社の「太神楽」、仁比山神社の「御田舞」、高志神社の「高志狂言」、小森田の「女浮立」などの郷土芸能や伝統行事が大切に継承されている。
- ・「下村湖人」「吉田絃二郎」「伊東玄朴」など、郷土が生んだ偉人の顕彰を行い、スケッチ会を開いたり、読書感想文や感想画の募集を行ったりして、表彰・展示等を行っている。

## 仁比山小学校の取組

- ・仁比山小校区には、国営吉野ヶ里歴史公園、天然痘予防に力を尽くした伊東玄朴の旧宅、国の名勝九年庵や仁比山神社、百済から日本に漢字を伝えたと言われる王仁(わに)博士を祀った王仁神社など、名勝や史跡が数多く残されている。
- ・このような校区の特色を生かして、仁比山小学校では、ふるさとを愛する人を育てることを意図した、『にいやま学』を確立している。
- ・『にいやま学』の内容としては、「仁比山PRビデオ」「仁比山はかせ検定」「漢字はかせ検定」「仁比山いろはカルタ」「伊東玄朴子ども学芸員」「仁比山神社・鰐神社清掃奉仕活動」「伊東玄朴物語の読み聞かせ」などがあり、学校行事や総合的な学習の時間、各教科等の学習活動の中で取り組んでいる。
- ・秋の「仁比山祭り」では、各学年の『にいやま学』の取り組みを発表し、高い評価を得ることができた。



教育委員会所在地: 神崎市千代田町直鳥166番地1  
連絡先: (0952-44-2384)  
学校数: 小学校 7校、中学校 3校

## 脊振小学校の取組

- ・地域の方々の協力を得て、総合的な学習の時間を中心に、「ほうれん草収穫体験」「しいたけ栽培体験」「柿収穫体験」「こんにやく作り体験」「寿大学での昔遊び体験」等の地域の特色を生かした体験活動を行っている。これらの活動を通して、脊振の自然や食のすばらしさについて学び、ふるさとを誇りに思う心を育てようと努めている。
- ・脊振小・中学校の全児童・生徒と脊振町の全住民が参加しての『脊振まるごと大運動会』
- ・地域の文化活動の発表の場である『森林の里文化フェスティバル』への脊振小児童の参加などを通して、地域の人々との交流を深めている。



## 神崎市教育委員会の取組

- ・歌人で詩人の「服巻四郎」、九年庵を造営した実業家「伊丹弥太郎」、次郎物語の作者「下村湖人」など、神崎市が誇る35名の偉人を紹介した『神埼の偉人35』を各学校に配布し、郷土の偉人のことを知り、郷土を愛する心を育てるとともに、子ども自身の生き方学習に活用していくことをねらいとしている。
- ・下村湖人作の『次郎物語第1部』と吉田絃二郎の童話集『天までとどけ』を、小学校入学時に全児童に配布し、学校や家庭で読み合う中で、ふるさとを愛する心、豊かな心を醸成するように努めている。
- ・来年度からは、市内全小中学校で『神埼・ふるさと学習』に取り組み、研究論文の募集を行う予定である。